No.83 2017年4月

富山県 中央植物園だより

第19回私の植物写真展入選作品「春爛漫」 撮影／五十嵐 由美子さん

エドヒガン‘八重紅枝垂’（バラ科）

エドヒガン系のサクラの園芸品種で、青森県以南の各地で栽培されている。平安神宮の‘八重紅枝垂’は、谷崎潤一郎の「細雪」や川端康成の「古都」に登場し有名。写真は富山県水墨美術館のもの。

今年のサクラ‘コシノフユザクラ’

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。2017年は5月に魚津で開催される第68回全国植樹祭で皇后陛下がお手植えされる‘コシノフユザクラ’うを選定しました。このサクラは富山県固有の二季咲きの品種で、園内の「富山ゆかりのサクラ」コーナーで11月と3月下旬～4月上中旬に見ごろとなります。また、園内のインフォメーションコーナーではコシノフユザクラの植物画の絵はがき（4枚1組）も販売しております。

沖縄展「島の恵みー亜熱帯地域の植物資源の活用Ⅱ」開催リポート

1月13日から1月25日まで沖縄展「島の恵みー亜熱帯地域の植物資源の活用Ⅱ」を開催しました。今回の展示では、琉球列島で広く親しまれているサクラであるリュウキュウカンヒザクラと沖縄県に自生する絶滅危惧植物リュウキュウベンケイ、およびリュウキュウベンケイとカランコエとの交配種「ちゅらら」の6品種を紹介しました。

リュウキュウベンケイは琉球列島や台湾、中国南部に分布する多肉植物で、沖縄県では生育地の消失により野生では絶滅したと考えられていました。ところが、沖縄県熱帯・亜熱帯都市緑化植物園による調査で、近年自生地が確認されました。絶滅危惧種の保全とその利用についての一例として、（一財）沖縄美ら島財団の協力を得て展示しました。

リュウキュウベンケイの野生種

リュウキュウベンケイを交配親に用いた園芸品種「ちゅらら」

第4回クリスマスローズ展　開催リポート

2月17日から19日まで第4回クリスマスローズ展を開催しました。今年は斑入り品種をアレンジした展示のほか、クリスマスローズの花を使った押花アート作品（協力：東昌子押花会）を展示しました。初日にラジオの生中継があったことや土日の天候に恵まれたこともあり、多くの方が来園されました。また、講習会も大盛況で、改めてクリスマスローズの人気度の高さを認識しました。

クリスマスローズの斑入り品種を使用したリース（左）と寄せ植え（右）

クリスマスローズの展示作品

温室にいる「動物たち」

植物園の温室にある動物や植物のレプリカに気づかれた方があるかと思います。それぞれの温室の自生地の雰囲気を出そうと職員が手作りしたものです。良くできているためか熱帯果樹室のシロテナガザルは本物とまちがわれ、鳥に目を攻撃されるほどでした。今回雲南温室にレッサーパンダが加わりましたので、探してみてください。

今回展示に加わったレッサーパンダのレプリカ。

目を修復したシロテナガザル

これまで結実したことがないジャックフルーツはレプリカを展示。

研究紹介◎『トウツバキの花に訪れた3種の鳥類　ー中国雲南省での観察から』

栽培展示課　志内利明

トウツバキ Camellia reticulata Lindl. は中国の雲南省、四川省、貴州省に分布するツバキ科の植物です。園芸植物として古くから親しまれており、100を超える品種が知られています。雲南省では野生種が中部から中西部に自生し、1月から3月にかけて赤色の花を咲かせ、開花中は多量の花蜜を生産します。花の形は日本と中国東部、朝鮮半島に自生するヤブツバキ C. japonica L. と良く似ています。ヤブツバキは国内では鳥類の訪花により受粉を行う数少ない植物の一つで、メジロやヒヨドリの訪花が観察されていました。

富山県中央植物園と中国科学院昆明植物研究所は平成20年から共同でトウツバキの保全に関する研究を行ってきています。その調査中、ミヤマヒヨドリ（ヒヨドリ科）Hypsipetes mcclellandii similis 、シロクロウタイチメドリ（ガビチョウ科）Heterophasia melanoleuc、ノドジロヒヨドリ（ヒヨドリ科）Pycnonotus xanthorrhous の3種の鳥類がトウツバキの花に訪れ吸蜜する様子が観察されました（図1）。ノドジロヒヨドリはトウツバキの園芸品種への訪花を観察したのですが、少なくともミヤマヒヨドリとシロクロウタイチメドリは自生するトウツバキへの訪花であり、頭部を深く花の中に入れる吸蜜行動が観察されたことから、花粉媒介者として機能している可能性が高いと考えています。ところで、ヤブツバキではヒヨドリがしばしば花を食害したり、胃の内容物から雄蕊および花粉が観察されたりしているため、受粉よりむしろ花に損傷を与えることが多いのではないかと考えられています。今回の観察はそれぞれわずか10分ほどの短時間の観察でしたが、トウツバキを訪花した3種の鳥はいずれも雄蕊や子房を食害するような行動は見られませんでした。

今後は詳細な観察等を行い、これらの鳥類がトウツバキにとって送粉者となっていることを証明する必要があると考えています。

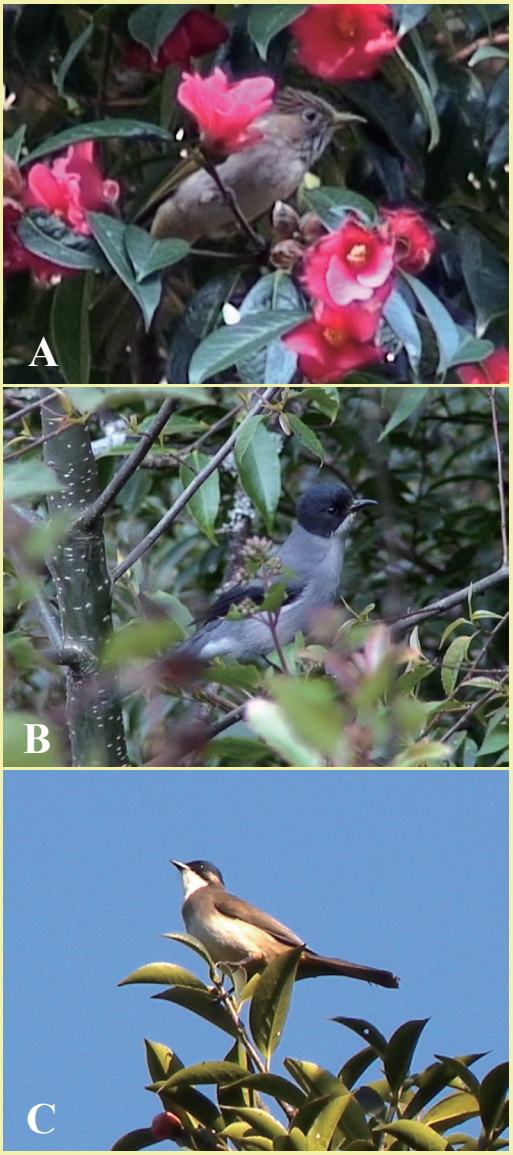

図1. 中国雲南省で観察されたトウツバキの送粉者と考えられる鳥．A：ミヤマヒヨドリ（楚雄市，2009年2月20日撮影）. B:シロクロウタイチメドリ（楚雄市，2009年2月20日撮影）. C：ノドジロヒヨドリ（昆明市，2012年2月12日撮影）.

富山ゆかりのサクラコーナー

2013年(平成25年)5月に芝生広場の一角に「富山ゆかりのサクラ」コーナーを開設し、開園20周年を記念して富山県知事ほか県関係者による植樹式を行いました。その時植えたサクラは、それから3年経過してようやく多くの花をつけるようになりました（写真）。このコーナーには、'ヒミクヅロキクザクラ（氷見久津呂菊桜)'、'ニュウゼンオトメキクザクラ（入善乙女菊桜)' など菊咲き性の品種をはじめ、'コシノフユザクラ（越の冬桜)'、'コシノフクカサネ（越の福かさね)' など、富山県で新たに発見されたサクラの園芸品種を中心に17品種22本が植えられています。今後も県内で新たに見つかった品種を植えて、さらに充実させる予定です。

'コシノフクカサネ' は2016年春に多数の花をつけるようになった。

催し物のご案内

■企画展示　サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

企画展
「全国植樹祭で植えられるサクラ」
3月17日（金）～4月26日（水）

第36回ツツジ・シャクナゲ展
4月28日（金）～4月30日（日）

第38回 春のラン展
5月3日（水・祝）～5月5日（金・祝）

特別展
「富山の植物ー森・川・海とその恵みー」
5月19日（金）～6月21日（水）

さつき展　会場：ドリアスホール
6月 2日（金）～6月 4日（日）
6月 9日（金）～6月11日（日）

夏のラン展
7月8日（土）～7月9日（日）

■特別開園

第6回さくらまつり
4月上・中旬の土日を含む4日間
（開花状況により変更することがあります）
特別開園／200円

■講座・講習会

★栽培講習会
「ランの栽培と管理」
5月4日（木・祝）・5月5日（金・祝）
14:00 ～ 15:30
会場　ドリアスホール
入園料が必要です。

★講演会
「海の生き物」
5月13日（土）13:30 ～ 15:10
会場：管理研修棟研修室

★ TOYAMA植物フォーラム
「植樹祭の樹を知る」
6月3日（土）13:00 ～ 16:00
会場：管理研修棟研修室

★植物写真教室　◎要申込
「やさしい花の撮り方」
6月4日（日）13:00 ～ 16:00
会場：管理研修棟研修室

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド
ーボランティアと歩く植物園ー
第1,2,4日曜日　13:30 ～ 14:00
ー園長と歩く植物園ー
第3日曜日　13:30 ～ 14:00
集合場所／サンライトホール

緑のコンサート
5月6日（土）、6月3日（土）
14:00 ～ 15:00

◎要申込　事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。

◆要申込　事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール（botanic@bgtym.org）で受付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園　入園案内

開園時間　9:00 ～ 17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00 ～ 16:30、入園は16:00まで）

休園日　毎週木曜日
（4月第1、2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）
年末年始（12月28日～1月4日）

入園料　大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）　400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
冬期入園料（12月～2月）
大人（一般および大学生）300円
団体料金（20名以上）　240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内　JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.83
編集・発行／富山県中央植物園（指定管理者：公益財団法人　花と緑の銀行）
〒939-2713　富山市婦中町上轡田42　TEL 076-466-4187　http://www.bgtym.org/
平成29年3月20日発行　　印刷／中村印刷工業株式会社